

平成7年(1995年)1月17日(火)午前5時46分、淡路島北部を震源地とする地震が発生しました。東北地方から九州地方まで広い範囲で揺れを観測し、国内で史上初めてとなる「震度7」を観測しました。死者・行方不明者は6400人を超え、全半壊など被害を受けた住宅は約63万棟にのぼります。



震源の深さ16kmで、地震の規模を示すマグニチュードは7.3でした。大阪府北西部から兵庫県の淡路島にかけて位置する活断層の一部がずれ動いたことで発生した大地震は、近畿地方を中心に広い範囲で揺れを観測しました。

地震後の気象庁は現地調査で、当初、震度6とされた地域のうち、淡路島のほか、神戸市、芦屋市、西宮市、宝塚市のそれぞれ一部地域で震度7の揺れに相当することが判明したと発表しました。



### 「阪神・淡路大震災での主な被害」

\*\*\*\*\*

※ 関連:安全ノートP.22~30

## 死者6434人、住宅被害63万棟

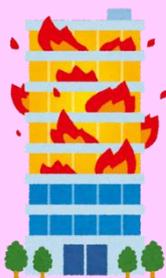
都市部で起きた直下型地震は甚大な被害をもたらした。約63万棟の住宅が被害を受け、6434人が犠牲になった。亡くなった人のほとんどが家屋の倒壊や家具などの転倒によるものだった。また、時間がたってから疲労やストレスで亡くなる人も多くいた。

死者	兵庫県:6402人(うち神戸市4564人) 大阪府31人 京都府1人
負傷者	4万3792人
住宅被害	63万9686棟 ※揺れによる被害 全壊:10万4906棟 半壊:14万4274棟 一部損壊:39万506棟



## 火事の被害も・・・(火災被害7574棟)

住宅が密集する神戸市長田区では大規模な火災が起きた。市内各地で火災が同時に発生する中で、地震によって水道管が被害を受けたことなどから放水用の水の確保が困難となり、延焼が拡大する一因になった。道路や鉄道といった交通網は断絶され、ガスや電気、電話といったライフラインも被害を受けた。



## 相次ぐ孤独死・・・

地震直後から各地で建設が始まった仮設住宅。4万8300戸が建設された。ピーク時の平成7年11月には4万6617戸の入居があった。平成12年1月14日ですべて退去し、同年3月末までに解体撤去が完了した。自力で住宅を確保するのが難しい人のため、災害復興住宅と呼ばれる公営住宅が建てられた。こうした中、誰にもみとられずに死亡した、いわゆる「孤独死」が相次いだ。



※ 参考:NHK「阪神・淡路大震災の概要」



# 「年表でたどる阪神・淡路大震災」



※ 関連:安全ノートP.22~30

## 「発災から復興までのあしあと」(震災発生から10年の軌跡)

年	主なできごと等
1995年 (前半)	1/17 阪神・淡路大震災発生 2/8 県立全日制高130校で授業再開 4/11 大阪ガス約70万戸の復旧宣言 6/12 阪急神戸線が全線復旧 1/23 避難者数31万6678人でピーク 4/1 JR神戸線が全線開通 4/17 水道の復旧完了 6/18 山陽電鉄が全線復旧
1995年 (後半)	8/11 仮設住宅4万8300戸完成 9/19 プロ野球 <b>オリックスがリーグ初優勝</b> 12/15 初の <b>神戸ルミナリエ</b>  <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>「がんばろう神戸」を合言葉に被災者を勇気付けた</b> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <b>神戸のまちと・・・ 市民の夢と希望を象徴する行事</b> </div>
1996年	8/10 被災地内の交通規制をすべて解除 9/30 阪神高速道路神戸線が全線開通 10/24 プロ野球 <b>オリックスが日本一</b>  <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>仰木監督率いるオリックスが「がんばろう神戸」を合言葉に日本一を達成!!! イチローは3年連続の首位打者に輝く大活躍!!!</b> </div>  11/19 サッカー <b>ヴィッセル神戸がJリーグ昇格</b>
1997年	3/2 大丸神戸店、全館で営業再開 12/15 復興住宅の4次募集で、なお仮設の7000世帯落選 
1998年	4/2 淡路に震災記念公園オープン 4/5 明石海峡大橋が開通
1999年	2/15 神戸の観光客数が震災前に戻る 5/11 兵庫県内の全復興公営住宅が完成
2000年	1/12 「慰霊と復興のモニュメント」完成 震災を後世に語り継ごうと、神戸市が三宮の東遊園地で建設を進めてきた「慰霊と復興のモニュメント」が完成。亡くなった神戸市民などの氏名を刻んだ地下室などが設けられた。 1/14 <b>被災地の仮設入居者「0(ゼロ)」に</b>
2001年	2/5 「世界防災会議2001」を淡路で開催 国際的な防災の連携を考える「世界防災会議2001」が2月5日、兵庫県津名郡東浦町(現・淡路市)の県立淡路夢舞台国際会議場で開幕。国連やOECD(経済協力開発機構)、世界銀行などが一堂に会し、協力体制の構築を狙った初の試み
2002年	4/27 人と防災未来センターが開館 12/20 震災死者数、1人増え <b>6433人</b> に
2003年	8/28 震災を検証する兵庫県「震災10年委員会」発足 10/3 神戸・三宮に「神戸マルイ」オープン
2004年	11/1 <b>神戸市の人口が阪神・淡路大震災前を上回る</b>
2005年	1/17 <b>阪神・淡路大震災から10年</b> <b>無念 尽きぬ「なぜ」 あの日から10年</b> 亡き人々の10年分の涙が、空から落ちてきた。17日午前5時46分。祈りの静寂が満ちる。雨音が響く。6433人の命を奪った阪神・淡路大震災から、10年の時が巡る。1人の部屋でじっと目を閉じた人がいた。  慰霊碑に刻まれた家族の名に初めて触れた人がいた。焼けた街で。地滑りが襲った場所。ろうそくの灯が揺れる公園で。「区切りをつけたい。でもつけられない」。言葉が嗚咽(おえつ)に変わる。夜が明けて虹がかかった。「忘れないで」。空の向こうから声が届いた。(神戸新聞 2005年 1月17日紙面より引用) 12/22 阪神・淡路大震災の死者数 <b>6434人</b> に